

<日本臨床心理学会主催研修会>

解決志向リフレクティング；その技法と実践

日 時：6月8日（土）午後1時30分～4時30分（受付開始1時20分）

場 所：TKP スター貸会議室 飯田橋

講 師：田代 順（山梨英和大学）

参加費：会員 2,000 円 非会員 3,000 円

定 員：30名 先着順 定員になり次第×切ります。

申込方法：氏名、連絡先を明記し、メール jde07707@nifty.com か
ファック 075-441-0436 で学会事務局へお申込みください。

<研修内容>

フィンランドからオープンダイアログ（以下 OD）とともに日本と一緒にやってきたナラティブなアプローチ実践として、アンティシペーションダイアログ（以下 AD）というものがあります。日本語訳では「未来語りのダイアログ」として紹介されました。

これは、当事者（やその家族）、関係諸機関の、当事者とその家族に関わる職員と当事者支援を実際に行っている支援者が一同に会して行うネットワーク・セッションです。

この AD は「支援者支援」のための対話技法であり、「支援がうまくいかない」と感じている支援者自身が、自分の支援がうまくいって「解決」した未来の時点から、この「解決」について振り返りつつ、解決がどのように構築されたかを参加者とともに対話的に再構成していく対話実践です。こうして、解決の具体的道筋を支援関係者や支援を受けている当事者やその家族とともに、当事者支援に実際関わっている支援者が対話しながら、これから生起していくであろう解決の道筋を具体化していきます。

フィンランドで行われているような、AD を日本で実践するには、様々な「困難」が伴います。例えば、日本の支援施設のそれぞれの支援の「あり方」の違いや、施設ごとの制度的・文化的な違いがあります。また、支援者自身の「支援要請」を支援者自身の問題として「洗練」させていくための準備手続きの精緻さと、それに伴う時間的労力の多さがあります。さらに、AD のようなネットワーク・セッションをするための、「支援」に関わるネットワーク上のマンパワーの招集・構成の困難さ（≡当事者やその家族をそのような場に呼ぶことの困難さ等）も生じます。加えて、その招集されたマンパワーに対する実際の「対話実践手続き」の複雑さと煩雑さが、日本における AD 実践を阻む高い壁となっています。

講師は、AD のエッセンスを損なわないようにしつつ、日本の現状に合わせて AD を「簡易化」したものを「解決志向リフレクティング（以下 SFR とする）」として展開してきました。

これまで、研究会のワークショップ（スクールカウンセラー支援のための SFR 実践）、地域医療-福祉で、介護施設（看取りまでする）と連携する医師と介護支援職員のネットワークでの介護実践者への「支援者支援」、精神病院に勤務する看護師のネットワークで SFR の実践を通して、その「解決」効果を実感し、かつ SFR の「やり方」を洗練させてきました。

当日は、ナラティブなアプローチでの「ナラティブなアプローチについての心理教育」とワーク後に、SFR の「実際例」を展開し、参加者も SFR の「参加当事者」として、「支援者支援」を対話的に構成していくこととなります。以上を通して、日本の保健・福祉・医療・教育の現場でもより容易に実践可能な、「未来語りの対話実践」としての SFR を体験学習してもらい紹介していこうと思っています。

<会場案内>

TKP スター貸会議室 飯田橋
千代田区飯田橋 3-4-3 エレガンス飯田橋 2F
Tel 03-4577-9240

アクセス

JR 総武線 飯田橋駅 東口 徒歩 2 分
都営大江戸線 飯田橋駅 A2 出口 徒歩 2 分
東京メトロ
東西線 飯田橋駅 A5 出口 徒歩 1 分
有楽町線 飯田橋駅 A2 出口 徒歩 2 分
南北線 飯田橋駅 A2 出口 徒歩 2 分

